

納品見本

商談メモから お礼メールの下書きを作る

架空の会社と数値を使った、90分診断後の実行メモ見本です。実在する顧客、案件、成果は含みません。

会社	対象業務	判断する人
サンプル工業	商談メモからお礼メールの下書きを作る	営業責任者

20分	月20回	400分	10分以下
現在の1回あたり	想定実施回数	現在の月間合計	30日後の目標

01 / WORKFLOW

仕事の流れ

順番	作業	担当	AI
1	匿名化した商談メモを用意	営業担当者	使わない
2	お礼メールの下書きを作成	担当者とAI	使う
3	日付、要望、約束事項を元メモと照合	営業担当者	使わない
4	宛先を入力し、確認後に送信	営業担当者	使わない

02 / BOUNDARY

AIへ任せる範囲

AIへ任せる	人が判断する
仮名に置き換えた商談メモを読み、250字以内のお礼メールの下書きを作る。	価格と納期の確約、宛先入力、元メモとの照合、送信。元メモにない約束が出たら破棄する。

入力してよい	入力しない
架空の会社名と担当者名 公開済みの商品情報 匿名化した要望と次回予定	実在する顧客名と連絡先 未公開の価格と値引き条件 契約書、認証情報、個人情報

03 / WORK TEMPLATE

そのまま試せる作業テンプレート

役割

BtoB営業担当者が確認する、お礼メールの下書きを作る。

入力

匿名化した商談メモ。

作業

1. 相手が話した課題の一つ抜き出す。
2. 自社が約束した次の行動と日付を抜き出す。
3. 250字以内のお礼メールにまとめる。

出力形式

件名、本文、要確認事項。

禁止事項

メモにない価格、納期、機能を足さない。実名やメールアドレスを推測しない。送信済みのように書かない。

人が確認する項目

相手の課題、約束した行動と日付、価格と納期の表現を元メモと比べる。

04 / 30 DAYS

30日間の予定

週	試すこと	記録
1週目	架空メモで試す	時間、修正箇所
2週目	匿名化した過去メモ3件で試す	時間、修正箇所
3週目	同じ指示で3件試し、再現性を見る	時間、重大な誤り
4週目	続行、修正、中止を決める	判断と理由

05 / DECISION

30日後の判断条件

続ける	中止する
確認時間を含めて平均10分以下。 価格や納期を捏造した重大な誤りが0件。	元メモにない価格や納期が一度でも出る。 または、確認を含めて平均15分以上かかる。

この見本で分かること

診断では「AIを使う」だけで終わらせず、入力してよい情報、人が確認する箇所、30日後に続ける条件まで一枚の実行メモにします。

この文書は販売内容を説明するための架空サンプルです。法務確認済みの社内規程、成果保証、顧客事例ではありません。